©2022 YHAL, YITP, Kyoto University
湯川記念館史料室 京都大学基礎物理学研究所

きょうから京都で

世界連邦世界協会総会

「東京提案」などを討議

【京都】世界連邦世界協会（WAWF）総会はさきに東京で開かれた世界大会に引続ききょう二十九日から二日間、京都市左京区岡崎の京都会館国際会議場で開かれる。世界大会に示された宣言をさらに一歩進めて具体的な行動、活動方針を決めるもので、とくに世界連邦の理念に立って国連憲章の改正を求める「東京提案」を討議、決定する予定である。

京都での総会は、二千人が参加した東京大会と異り、投票権を持った二十カ国のWAWF加盟団体代表とオブザーバー約三百人だけに出席者を限り〝東京提案〟のほか各国代表の諸提案を審議、新会長と、二年後の次期世界大会開催地などを決めるが、新会長は湯川会長の再選、次期開催地はサンフランシスコが提案されている。

また〝東京提案〟は世界各国政府に働きかけて、九月十七日から開かれる国連総会に提出することにしている。

各国代表の決議案としては、イギリス代表から「平和維持のため国連が永久的警察軍を直接募集する提案」日本代表の「世界連邦創設のための国連特別総会早期開催」「世界連邦平和都市宣言を全世界の都市にひろめ、本部を日本に置く提案」などが準備されている。

総会の日程は次の通り。

【二十九日】午前十時＝開会式▽同十一時＝東京大会の総括報告▽午後二時＝〝東京提案〟や運動方針など決議案上程【三十日】午前十時＝決議案の審議、採決▽午後二時＝役員改選と次期開催地の決定▽午後四時＝閉会式▽午後六時＝世界大会のタベ（湯川会長、マフリュー英労働党議員、R・ネール・インド外相夫人らが公開講演）

c084-016-029

記者会見する（右二人目から）ウィンガーデン執行委員長、湯川会長、スタンレー〝員長、ラジャン・ネール夫人

〝東京宣言肉づけ〟

湯川会長ら記者会見

世界連邦世界協会（WAWF・湯川秀樹会長）の京都総会は、きょう二十九日から二日間にわたって京都会館会議場で開かれるが、二十八日午後、同協会の湯川会長、C・M・スタンレー理事長、ウィンガーデン執行委員長らは京都国際ホテルで記者会見を行ない、京都総会の意義などについてつぎのように語った。

まず、湯川会長は東京大会は大きな成功をおさめたと前置きして「東京大会には一般からも参加したが、京都は投票権をもつものだけで、東京で出された諸提案を検討する。このうち、とくに重要なのは、国連を世界連邦に改組するよう求めた〝東京提案〟を肉づけして〝東京提案〟として協会が正式に採択、今後の運動方針とすることだ」と述べ、スタンレー理事長も「これからの運動の原則は東京できまったが、その行動、方法などについては京都で決定しようというわけで〝東京宣言〟実現への具体策をきめる点にとんどの総会の意義をもつ」と話した。

なお、総会には国連を世界連邦に改組するという東京提案のほか、平和都市宣言運動（日本）志願制による国連警察軍の創設（英）国連内に平和研究所の創設（ノルウェー）などの提案が各国代表から出されており、同時に検討される。

日程は二十九日午前十時から開会式、午後から総会にはいり、三十日は各提案を採択したあと、役員選挙などを行ない、同日夕閉会する。

（十一面に関連記事）

きょうから「世界連邦協会京都総会」

c084-016-030